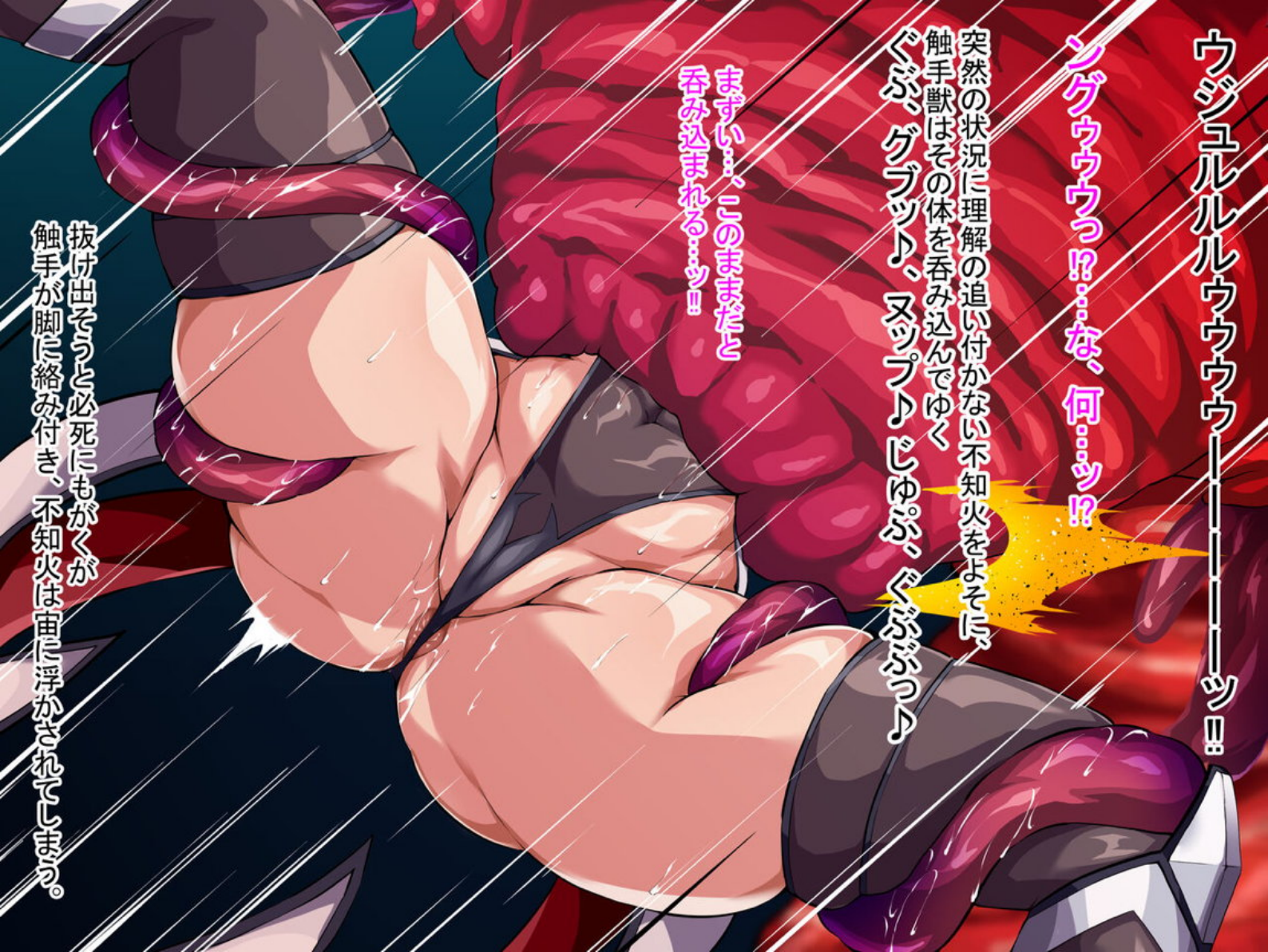
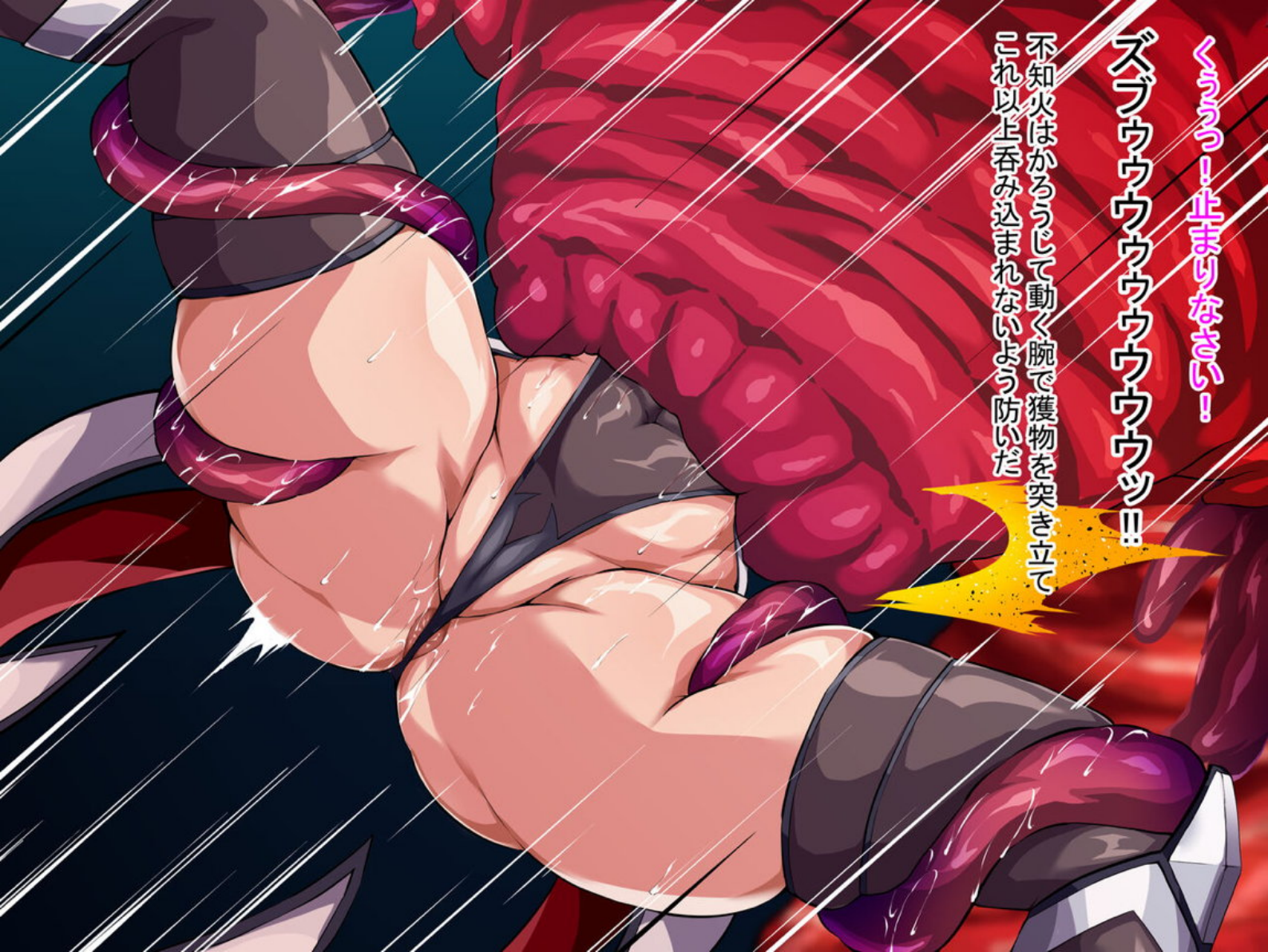
淫蝕の対魔忍
～魔を孕み悦楽に堕ちる母娘～

とある任務で敵対勢力の研究施設へ潜入した
対魔忍 水城不知火
重要拠点だと予想していたため
ベテランの不知火が選ばれたが
意外にも警備は手薄で難なく侵入できてしまった。
さて、残すは奥の部屋のみね
しかし、施設の奥へと辿り着いた不知火は
怪訝な表情を浮かべる
はぁ…、困ったわね
簡単な任務だと思っていたけれど……

さぁ、そこを通してもらうわよ 魔獣さん♪
まさか、こんな魔獣が棲みついているなんて
余程隠したい秘密がこの先にあるようね
ボッ


ウジュルルルウウウウ――――――ッ!!
ングゥウウっ!?…な、何…ッ!?
突然の状況に理解の追い付かない不知火をよそに、
触手獣はその体を呑み込んでゆく
ぐぶ、グブッ♪、ヌップ♪じゅぷ、ぐぶぶっ♪
まずい…、このままだと
呑み込まれる…ッ!!
抜け出そうと必死にもがくが
触手が脚に絡み付き、不知火は宙に浮かされてしまう。


くぅぅっ！止まりなさい！
ズブゥゥゥゥゥゥゥゥッ!!
不知火はかろうじて動く腕で獲物を突き立て
これ以上呑み込まれないよう防いだ

はあ…、はあ……止まった…？
この触手 全く気配を感じなかった
油断していたつもりはないのだけれど…
とにかく、こんな化物に消化されるなんてゴメンだわ
すぐに抜け出さなければ

ふふっ♪触手如きが何をするかと思ったら…
どうやらこの粘液を塗りつけて
弱らせるつもりね。でもそう上手くいくかしら？

こんな触手を幾ら押し付けても
何にも感じないわよ
触手程度に屈するような
鍛え方はしてないわ
にゅ
にゅにゅ

ドクッ
ドチュ
ドチュ
ドクッ
ドクッ

な…っ、何…!?
ビクンって…
うそ…!
何か注いでるぅ!
これ…媚薬ぅッ!?
まずい…快楽を…
反らせな…っ♥

んふぅっ…♥う、…うそ…母乳ぅ♥
さっきの媚薬のせいね…！♥
はぁ、はぁ…♥まずいわ…
どんどん溢れてくる♥
それに乳首も敏感に…ッ♥
じわ…

ギュッ
ひ…っ♥、んひイイっ♥♥
や、やめなさ…っ♥
おっぱい♥
めちゃくちゃにいい♥♥
おひッ♥おっ♥おっほ♥
やめっ…、んヒイッ♥
ギチ
ギチ

おほぉぉおっ♥
出るぅッ♥
おっぱい出ちゃうぅぅぅっ♥♥

ひゅ〜〜
ビュ〜
ビクン
ビクン
ぶぴゅ
ぶぴゅ
ぶぴゅ
ビクンッ

へ……っ？
イ〜〜〜ッ
イ〜〜〜!!
細い触手が何本も…!?
シャルル
う、うそでしょ!?
そんな…まさか…ッ
しゅる
しゅる

ほぉっ!?
んッひぃぃいいっ♥♥
乳首ほじくってるうウん!?♥♥
んひっ
ズブっ
んひぃ
おほぉおッ♥♥
どんどん奥まで
来てるうウッ!!♥
ズブっ
ズチュ
ズチュッ
ズブッ

おっほぉぉぉぉーーーーっ♥♥♥
無理無理ムリぃぃぃィ♥♥
おっぱいイぐっ♥
乳首穿られて…っ
感じちゃうぅぅうーー!!♥

んおほおおおおおっおおお――――っっっ♥♥
母乳アクメ最高っっ♥乳イクぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅッ！♥

あっ♥でりゅ♥
濃いの射乳りゅぅぅっ♥♥

乳腺の奥に溜まった濃いミルクをも、
触手はひり出そうとする

ぶっびゅぅぅぅぅぅう!!
ブリっ、ブビュ♥ぶりゅりゅりゅっ!!♥

ブリュっ、ブビュ、ブびっ!!♥

おおよそ射乳とは思えない
下品な音を立てて、最後の一滴も搾り尽くされる

ヌチュ
ヌチュ
ビクン
ビクン
ビクン

どこかに連れ込もうとしてる…？
早く…、抜け出さないと…！
でも……
体に力が入らないぃっ……♥♥
ズルル…
ズルル

ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ

ビクン
ビクン
ビクン
ビクン

く…っ、触手の母胎になるだなんてゴメンよ
早く脱出しないと…ッ！
ハーハー
ぶるん
それにこの触手、育つのが異常に早い…
恐らくこの施設の連中に改良されたんだわ

くふぅぅぅぅぅぅぅっ！
お、おっぱいぃぃぃイぃ！♥♥
ビュッ
ビュッ
ガク
ガク
ガク

はぁ…、はぁ…っ、こ、こんな単純な責めで…感じちゃってるぅぅ♪
ビクンッ
ビクンッ
ただおっぱいをでかくしただけじゃない…、
完全な母胎にするために媚薬漬けにされたんだわ……っ！

ふーっ、ふうーーっ！

がぶっ！、がぶぅぅぅッ！
おほおおおォおぉーーーーーッ☆♥♥
おほぉぉ♥
乳首ぃ♪、食いつかれりゅぅぅぅぅぅぅぅーーーーッ♪♥♥

不知火の勃起した乳首に噛みついた触手はまったく離れようとしない。それどころか——
がぶっ、がぶりゅ♪
乳首の弾力、噛み心地が気に入ったのか何度も食らいついてきた
この触手…ッ、離れないい！♪ それに何か…注ぎ込んでるぅぅうん⁉♥
んへぇ～～♥ 体に…、ちからが入らないいい～～ん☆
獲物に噛みつき、筋弛緩効果のある毒を流し込んだ触手は準備が整ったとばかりに次の行動に移る

ズボォォオオオッ!!
ひっ…♪ んひぃいイイいいいいいい〜〜ーーーッ♥♥
毒で緩みきった乳首に頭を突っ込み、侵入を試みたのだ
だっ、ダメよこんなの♪ 入るワケないじゃないいいい♥♥
諦めなさい…!!♪、あっ♥ そんなトコぐりぐりイィ〜〜♪

おっほぉおおお♪ やばっ♥ このままじゃどんどん潜られちゃうぅ♪
抵抗して諦めさせないといけないのに♥ んひぃいッ♪ おっぱいイぐぅうう♥♥♥

ズリュンッ!! ンひィっ!?☆
ついに、侵入を試みた触手の全身が不知火の乳内に収まってしまう
ンおぉぉおおおオォぉお――――〜〜ッ!!♥♥
おほっ♪んぉぉおぉっ! ぜ、全部入ったぁぁん♪
ブビュッ♪、ぶびゅぅぅぅぅぅぅぅぅ――――っ!!
母乳すごっぉ♪ おっぱいが悦んじゃってるぅぅぅぅぅ♥♥

はぁ♥はぁっ 陣痛ううっ!? おっぱいの刺激でっ、お腹の子供目覚めちゃったぁあ！
ふぎぃいイーーーっ♪産道ズリズリいい♥♥
う、産まれるっ、化け物の赤ちゃん産まれちゃうぅうぅ～～～ーーーん♪

ぶぼぉぉおおおぉおっ！
んおぉぉおおおおぉおぉおおオおーーーーーッ♪
出りゅ☆、赤ちゃんぶりぶり出てきちゃうううううん!!♥♥
イグっ、イっちゃうううううううううーーーーっ♪

ひィ♪…ヒィいん♥♥ 出産アクメ気持ちイイいい～～～♪
こんな快楽をママに教えちゃうなんてぇえ…♥

お母さんがいなくなったのは
この辺りのはずよね
「おい、気をつけろよゆきかぜ
不知火さんほどの対魔忍がいなくなったんだ
なにが仕掛けられているか――」
もー、わかってるわよ！
あんたはしっかり私のサポートをしなさいよね

どうしたもこうしたも
穴に落ちちゃったのよ！
ちょっと！何でこんなとこに穴があるのよ！
落ちちゃったじゃない！
「どうしたゆきかぜ!?」

え、ウソ…抜けない!?
【冗談じゃないわよこんなトコで!!
こうなったら床をぶっ壊して…!
「そんなことしたら敵に位置がバレちまう
潜入の意味がないだろうが!」

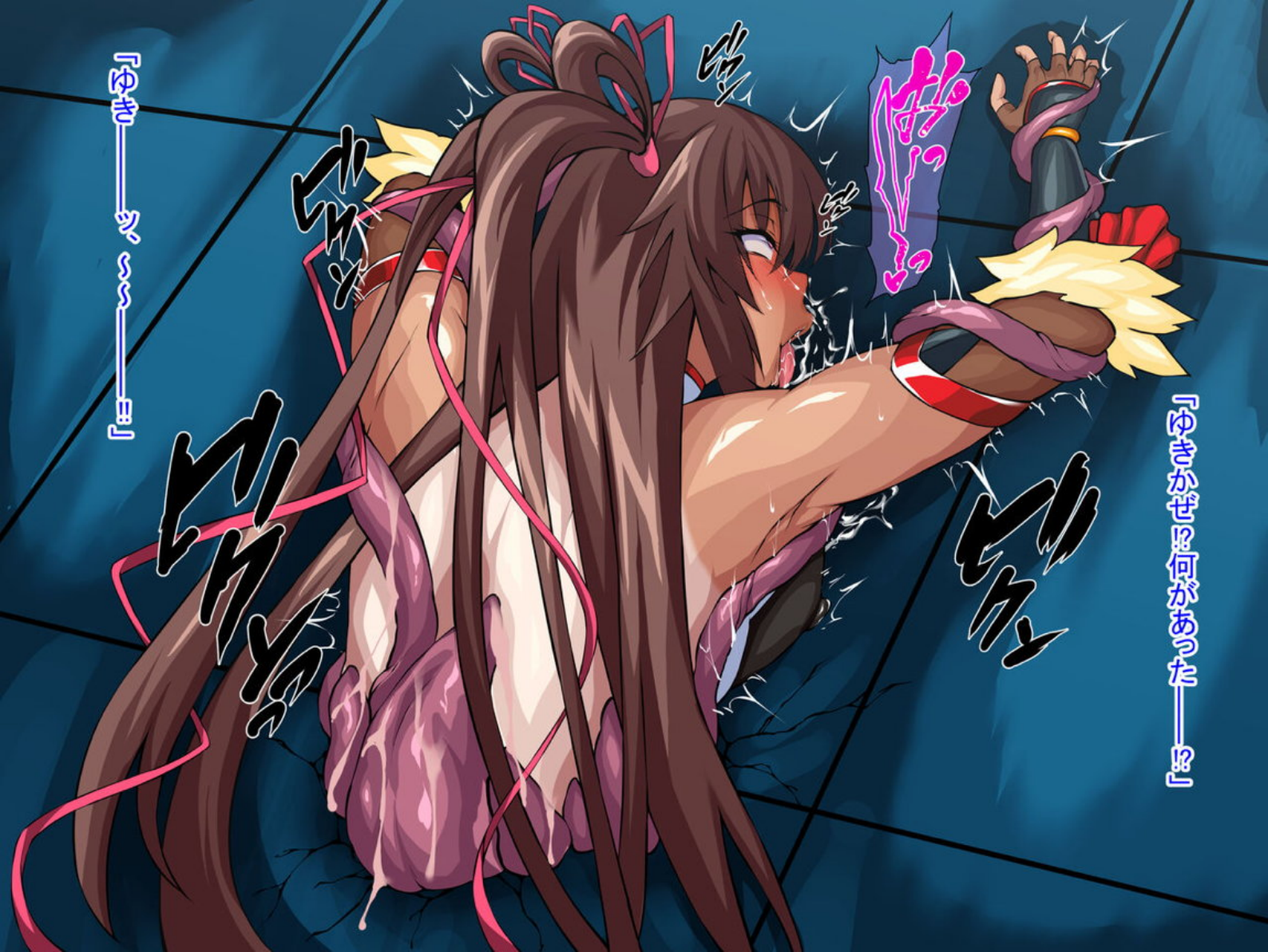
早くしてよね！
敵は片づけたけど
何があるか分からないから慎重にね
「わかった、なんとか助けに
行くから待ってろ！」
ズチュ
ヌチュ

本当に抜けない…
こんなに力を込めてるのに
どうなってるのよもう！

アイツが来る前に
抜け出してやるんだから
こんなみっともない姿
アイツに見せられないわ

うそ……、何か挿入ってる
えっ…？

ビクッ
おっ
んほおおおおおっ
ほおおおおおおおおっ


「ゆきかぜ!?何があった――!?」
「ゆき――ッ、～～～――!!」

……ここは？
そうだ、私…触手にやられて
お、お腹が！こんなに大きくなってる…っ！

なによ……ジロジロ見てんじゃないわよ、このキモ触手!!
こんな卑劣な罠を仕掛けて本当に最っ低な生き物だわ!!
あんたなんか私の雷撃で一瞬なんだから!!
は？分かったらとっとと失せなさいよ、このキモ触手……――

産まなきゃ…！産まないとコイツに殺される…ッ!!

お願い…お願い！
早く産まれて!!
じゃないとコイツに
殺されちゃうぅ!!
う、うそ…
出ない…っ!?
思い切り
イキんでるのに…!!

う、うそ…待って…！
産みますからぁ！
お願い、殴るのはヤメてえええええっ！

ひ…っ
う、産まれ…っ♥

クックック…、誰が捕まったかと思えば……。
ようやく魔獣を産んでくれる気になりましたか 水城不知火さん？
アナタは…っ
確かに始末したはず…!!
ええ、あの時ワタシは死に 研究成果も魔獣もろとも
若き日のアナタに破棄されてしまいました
ですがワタシの魔獣研究に目を付けた中華連合が
最先端のナノマシン技術でワタシを蘇らせ
こうして実験施設を提供して下さったのです

先ほどアナタを捕らえた触手魔獣、アレも提供して頂いたものでしてねェ、女を犯すことに特化しておりさらに魔薬を生成する機能を備えているのですよ。
その魔薬の名はミルク――。
ミルクですって…!?
アナタも聞いたことがあるでしょう？
快感に応じて噴き上げる生きた製造機…
それも最強の対魔忍のミルクとなれば欲しがる者も多い

ンひぃっッ!?☆
おっ♥おぉ〜〜♥
すごっ☆乳吸われるぅん♪
あなたにはこの搾乳器をつけてあげますから
しばらくの間、乳を吸われ続けて下さい
この搾乳器は魔界の家畜に使うモノで
人間に使う代物じゃないのですがね
あなたの巨大な乳房にはピッタリのようです。

家畜用の搾乳器は獲物を認識するや否や、内側に生えた
歯のような突起で不知火の乳輪へ食らいつき、激しく噛み扱いた
んっほっ♥家畜ぅうっ⁉♥
こんな扱いされて♪イっちゃうぅん♥
こんなもの人間に使うなんて♥♥
ヤバすぎるぅ！♥家畜アクメ
キメちゃうぅぅぅーーっ‼

ふぅ、どうやら私の声も
届かないほど気に入っているらしい
では、アナタはそのまま
家畜アクメをお楽しみください…♪

さて、お待たせしました
水城ゆきかぜさん
アナタには重要な役目がありますので
拘束させていただきました。
ふん、何が目的か知らないけど
対魔忍はあんたみたいな下衆には絶対に屈しないわ
それではさっそく…
同化を始めていきましょう

…ヒッ…、触手…ッ
おや、触手はお嫌いですかな？
ご安心ください。アナタを痛めつける程の力はありませんから

アソコに張り付いた…
な、…何よこれ…
これは触手魔獣の核でしてね
アナタの性器に取り付いて同化する性質があります
そしてアナタの対魔粒子を使い変質するのです

ちょ、ちょっと…
これって……ッ
そう、クリトリスに取り付き
男性器の様に変質するのです。
おちんちんが付いたみたい…
それに…、でっっか……
ビクン
ビクン
アナタの対魔粒子を利用して変質しますからね
これ程のサイズなら充分でしょう
では次は魔獣との同期を行いますよ

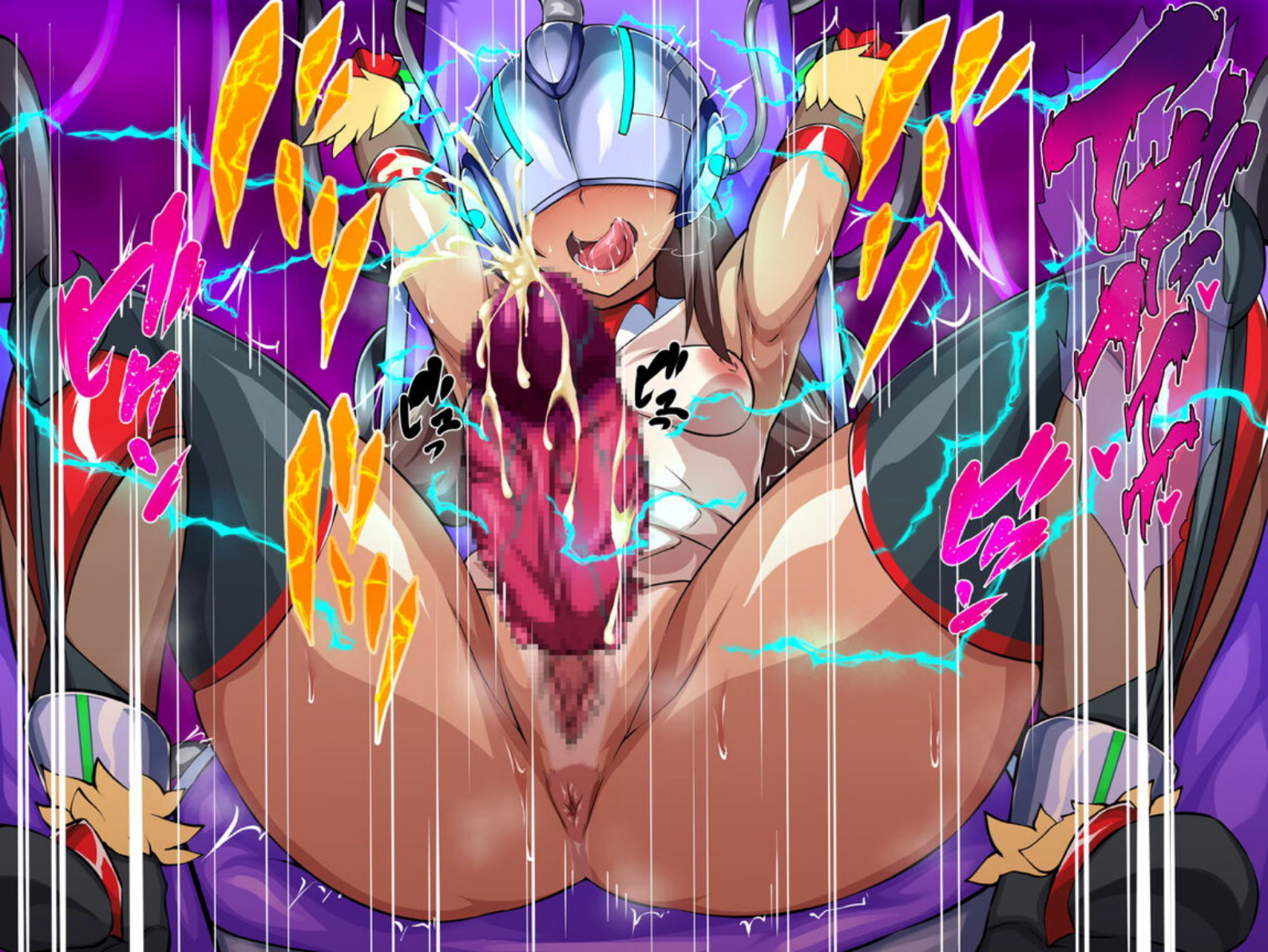
……は？
ちょっと…なによコレ…!!
では、まずは安定化を図るため
弱めの出力でいきましょう――

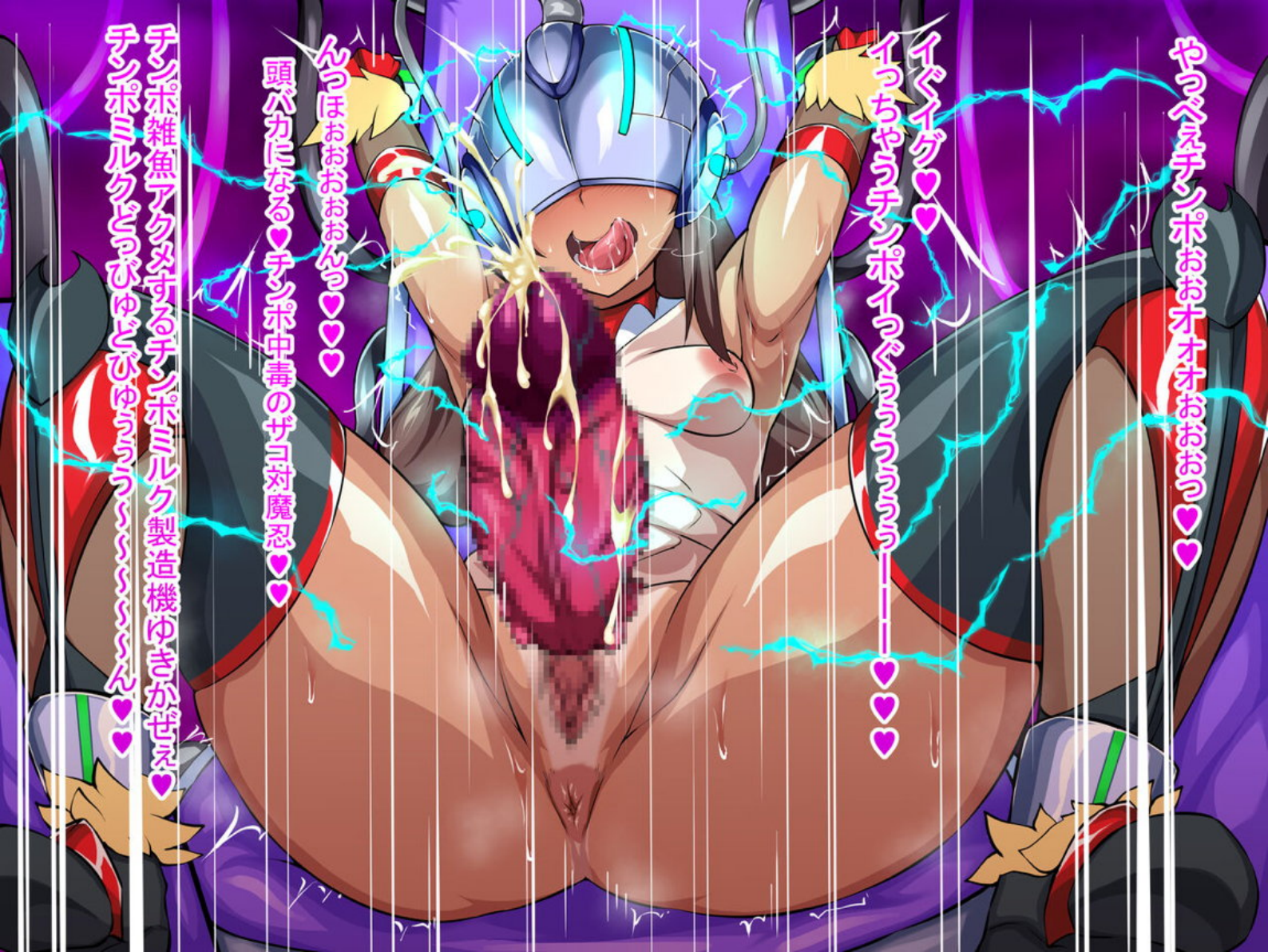
ふんぎいいイイいいいっ!!☆

あがががが～っ☆
チンポの気持ち良さ♥♥
脳に直接きてるぅぅぅ～～～～～!!♥

んひぃ～♥
チンポミルク製造お♥
どぴゅどぴゅ射精るのたまんね～～♥
おっ♥おほお!!♥でる射精りゅ～♥
腰くコ♥ザコ射精気ん持ちイイ～～～♥♥♥

この段階でこれ程の反応を示すとは…
やはりアナタは魔獣の養分となるに相応しい対魔忍です
この対魔忍の力を吸い尽くした魔獣を母親に寄生させて――
クックック…、これで最強の触手魔獣を産み出すことができる…！
た、対魔忍はぁ…
はっ、…こんなことで…！
はぁ
はぁ
堕ちないんだから…ア♥
それでは調整の続きを行っていきましょう
次はもう少し出力を上げさせてもらいますよ…♪



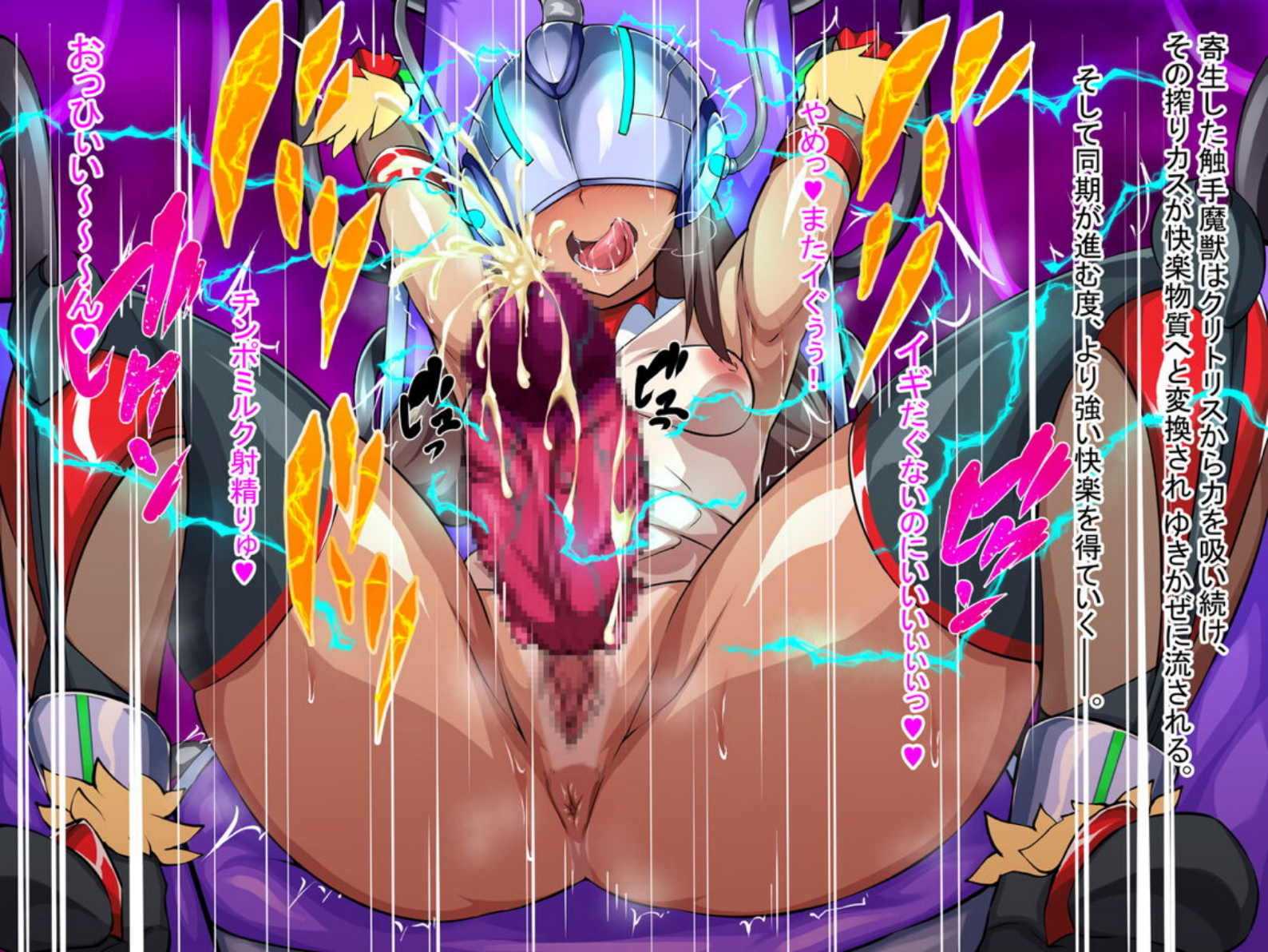


やっべぇチンポおおオオオおおおっ♥♥

イぐイグ♥♥
イっちゃうチンポイっぐぅぅぅぅぅぅ――♥♥♥

んっほぉおおおぉんっ♥♥♥
頭バカになる♥チンポ中毒のザコ対魔忍♥♥

チンポ雑魚アクメするチンポミルク製造機ゆきかぜぇ♥
チンポミルクどっぴゅどぴゅぅぅぅ～～～～～ん♥♥



寄生した触手魔獣はクリトリスから力を吸い続け、
その搾りカスが快楽物質へと変換されゆきかぜに流される。
そして同期が進む度、より強い快楽を得ていく――。

イギだぐないのにいいいいいいっ♥♥

やめっ♥またイぐうう！

チンポミルク射精りゅ♥

おっひぃい～～～ん♥

さて、こっちの家畜はどうなっていますかね

常人の何倍ものミルクを搾り取れましたね
それでは次の段階へと進みましょうか――

ヒュ
ヒュ
ザシュ

フー、フウー……ッ
…よくもやってくれたわね
おぉ…、常人ならば廃人となる程の媚薬を食らってもまだ動けるとは――
最強の対魔忍の名は伊達ではないようですね
さぁ、あなたを守る可愛い触手はもういないわよ？
覚悟しなさい――
フフフ――、ワタシを守るモノは
ここにはいない
だがこれを見ても
あなたはワタシを攻撃できるかな？

あっ♥あっあっ、えあああアアアアァあ～～～☆
へコへコ腰動かすだけで気持ちイイよおお～～♥♥
おっ♥やっべぇイぐ♥
触手チンポアクメ
またキマるぅぅう～～☆
キュイン
キュイン
イ、イぐ♥
はぁ
はぁ
シュコシュコ
イグぅぅ
んっほぉぉおお～～ん♥
シコるの止まんね♥♥♥
ザーメンどぴゅどぴゅ
垂れ流しイいいいい～～☆

ゆ、ゆきかぜ――!?
そうです、アナタの可愛い娘はワタシが預かっています。
そして見たまえ、彼女の性器に取り付いた触手を。
あれはワタシが攻撃されたら自爆するようプログラムされていましてね
危ないところでしたねェ。もしアナタが攻撃していたら…、
ここに映っていたのは娘の肉片だったのだからね

なんて卑劣な奴なの……
それはワタシには誉め言葉ですねェ。
さぁ、次の実験の準備が出来ましたから
おとなしくしていてもらいましょうか、ヒヒっ――♪
覚えておきなさい。
お前は必ず私が殺すわ――。

今度は何をするつもり？
また乳搾りでもしてくれるのかしら？
今から大事な段階へ入りますので
彼女を連れて来ましょう

柔らかオナホはっけーん♪
な…っ、ゆきかぜ!?
はぁ、はぁ♥
もうチンポびんびん♥
早く挿れたいい♥
ちょ、ちょっと…
何を言って…!
その娘に寄生した触手魔獣を完全な形にするには
優れた母胎が必要なのです。
最強の対魔忍であるアナタのような――。

いくら触手だからって…娘に犯されるなんてぇ！
ダメよゆきかぜ！母娘でこんなこと…お！
うひひ♥挿入ったぁ♪オナホが絡み付いてくる♥
んひいいいいいいっ！♥♥

やっべ♥オナホ気持ち良くてもう射精そう♥♥
ま、待って！射精るのね!?お願いだから外に射精して頂戴!!
じゃないとお母さん…魔獣孕んじゃうからあぁあっ!!♥
ぶるん
ぶるん

おっ…♥ おっほ――――～～～♥♥♥

うひひ
たくさん射精だ♥

ククク…安心したまえ。その魔獣の射精で
孕むことは無いですよ。

ぶしゅん

おっ…♥

おっほ

ただ、アナタの子宮を住みやすい環境に
作り変えていくだけです

す、住みやすくぅ…？

ほ♥、んほっ!?♥
おっほぉぉぉぉ――♥♥
チンポちんぽ
チンポォォぉお♥♥
ぼんっ
はひ!?チンポ欲しがってるうぅん!?
何これぇェッ♥♥
さっそく母胎への変化が出始めましたね
母胎にする獲物へ寄生するために
体液に強力な催淫効果があるのです

に…、逃げないと…！
この魔獣の母胎にされちゃう…ッ!!

ぶひっ!?
んぶひイッ!!♥

おやぁ？ あの水城不知火が豚真似をするとは
最強の対魔忍ですら抗えない魔獣…これは完成が楽しみですねェ

オナホの命乞いブタ声
めっちゃチンポにクる♥
もっとやれ豚ぁ♥
もっと下品な
ブタ面しろ♥
チンポ様に無様な命乞いしろ♥
チンポビキビキに
回復しちゃう♪
よく出来ました♪
それじゃぁ豚家畜の子宮使ってあげるね♥

ほっ、ほっ♪ぶひっ♥
ぶひいいいいん！♥
オナホ豚がたくさん気持ちよくしてあげますからね♪
んっほおおおん♥
チンポきたぁあ♥

ふんぎぃぃいいいいいいいいいいいいーーーーッ!?

うわっ♥マンコが痙攣してる♪
キッキツに締まって気持ち良♥♥
これ気持ちイイから
もっとやってあげる
お願いだから
死なないでね♪
子宮から脳天まで突き上げスパーーク♪

子宮に棲みついて
対魔忍の力吸ってるぅ！
ほっ
ほっ
おぉぉ～～～っ♥
全部吸い尽くされちゃう♥
苗床アクメ♥ヤバすぎるぅう♥
力吸われてるぅ♥
子宮イグぅう！

そ、そんな…お母さん…ッ！
くくく…、お前の母親はこの通り触手を産むための優秀な母胎になってくれたよ
嘘よ!!!これはきっと作戦だわ…!!
…そう、あんたを倒すための演技よっ
子宮で育ってるぅ♥
魔獣の苗床アクメイクぅぅぅぅぅっ♥
果たして本当にそうかな？
おっと、そろそろ魔獣の出産が始まるぞ

おっひぃぃいいいいーーーっ!!♥♥
赤ちゃん出てくるぅぅう♥♥
出産くるぅぅぅうううぅぅぅっ!!

お前の母親の対魔粒子を全て吸い尽くして
産まれてくるぞ

おっ
ビクン
ブシャアア

魔獣の影響で繁殖力がさらに増しているようですね
力を失ってもこれだけの触手を産めるとは
最も繁殖に適した母胎のようですね

あなたたち母娘は究極の触手魔獣を産み出すために大変役に立ってくれました。
魔獣に力を吸われたあなたたちは、最早搾りカス同然ですが、せめてもの感謝のしるしとして繁殖装置の一部にしてあげますよ。
フザけるんじゃないわよ！早く解放しなさい！
…は？目的は済んだんでしょ!?

ここを知ってしまったアナタたちを
還すわけがないでしょう？
おひいいイん♥♥
その触手は繁殖力を
強めてありますから
ズブ
ズボ
んギいいいっ!!♥
アナタたちの大好きな出産を
何度も楽しめますよ♪

んほおおおっ!?☆
産んだばかりの子宮に
また触手きたぁ!♥♥
こんなっ!
ザコ触手なんかにいい!♥

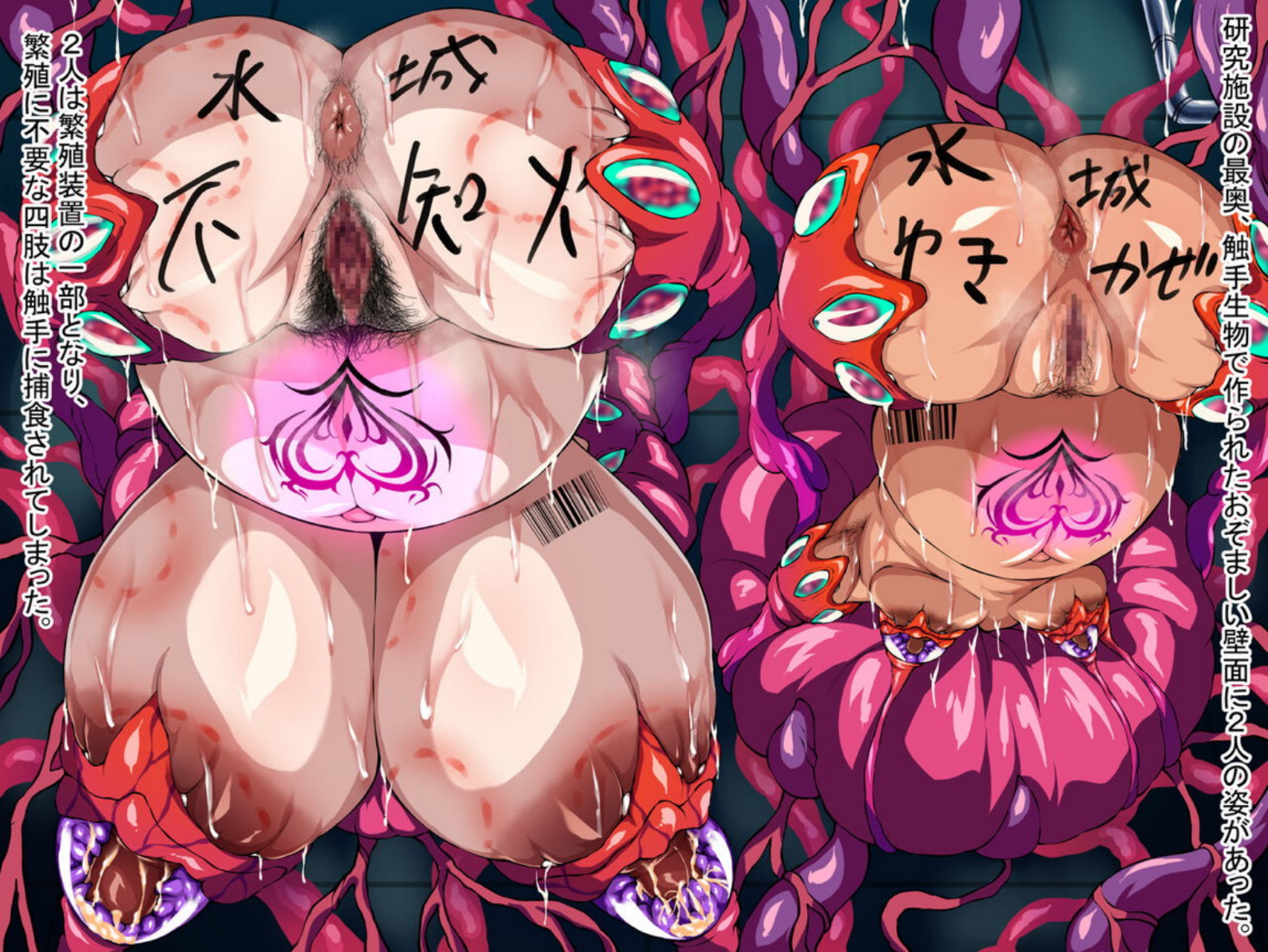
ぐっぽ～～♥
子宮パンパン♥
無理っ、無理無理イ!!
これ以上入らないい！
破裂しちゃうううっ！

よくもこんな日に…ッ！
殺す…！絶対に殺してやるんだからあッ!!
おっほぉおおん♥
次の赤ちゃん出産始まるぅぅぅっ♪
出産で子宮イキするの最高おおんっ♥
おっ♥来る♥
ババアの子宮拡げてるぅぅぅっ♥

また産まれちゃうっ！
こんなバケモノ…ッ
産みたくないのにぃ‼
んほおおっ♥おっ♥
きたぁ♪
赤ちゃん出産♥
産道っ、ズリズリ♪
気持ちいいぃん♥♥
ブリブリひり出して
イくぅぅウウぅっ‼♥♥
おっひいぃイん♥♥
イくの止まらないいいッ♥♥

な…!!?
ガポッッ
んひぃ♥
ズポズポッ

おっ、おっ☆
おおおおオおおっ～♥♥
くちゅっ♪
くちゅ
グチュッ♪
やめ…～～ッ♥
脳みそ溶けりゅっっっ☆
おおオ～～～ん☆
何これェ♪
吸っちゃってるぅ～ん！
ずぢゅるるるっ
ズゾっ♪
ズチュっ♪
あへっ♥
きもひぃぃ～ん☆
頭が…っ♥あっ♥…えへェ☆
スカスカのっ♪空っポになるぅぅ～～ん♥♥♥

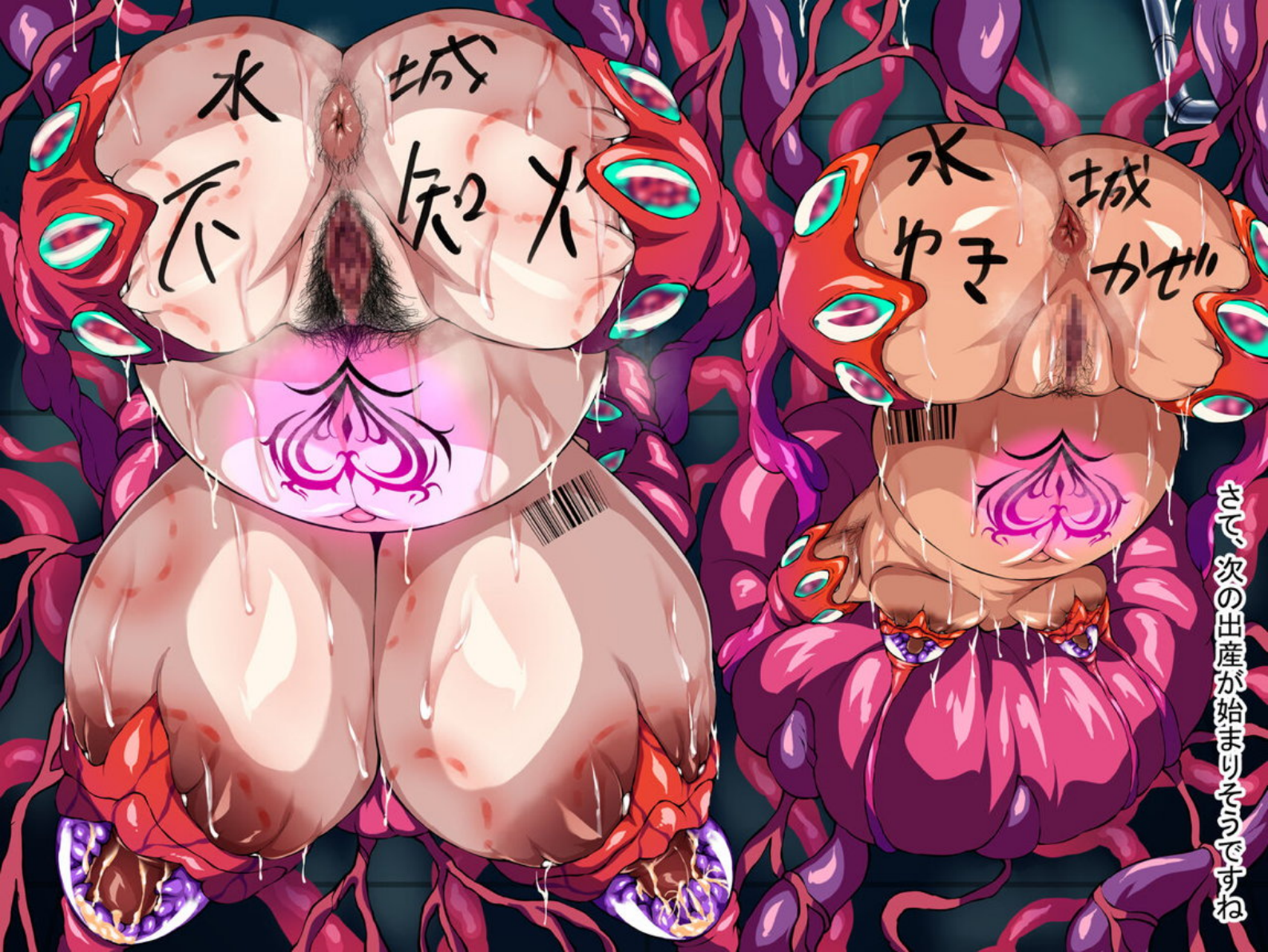

研究施設の最奥、触手生物で作られたおぞましい壁面に2人の姿があった。
2人は繁殖装置の一部となり、
繁殖に不要な四肢は触手に捕食されてしまった。

彼女から雷撃の力を奪い取った触手は、
その力を誇示するかのように強力な電撃を浴びせ続けた。
対魔忍 水城ゆきかぜ―。
水城
ゆきかぜ
ステータス
・完全家畜化
・感度3000倍
・淫紋刻印済(浸食度100%)
・精神破壊済
・乳房肥大化(極小)
→魔薬ミルク生産量2.7倍

うっギぎィィイイイいいイ〜〜ーーーっっ!!♥
ヤバいヤバいヤバイいいいいっ☆
雷撃キマるぅぅぅううううぅぅーーーー♥♥

そして、ゆきかぜの母　水城不知火――。
ステータス
・完全家畜化
・感度3000倍
・淫紋刻印済(浸食度100%)
・精神破壊済
・乳房肥大化(特大)
→魔薬ミルク生産量120倍
かつて最強の対魔忍だった女の面影は無く
改造された乳房はさらに肥大化し
魔薬ミルク製造機として利用されている
水城不知火
力を失っても母胎としての質は非常に高く、
強力な魔獣を産み落とし続けている。

ぶひいイイっ♥
やつべぇのくる♥♥
子宮噛んでる
激ヤバ魔獣ううううううっ♥♥


水城
水城
さて、次の出産が始まりそうですね

水
ヤマ
水
ヤマ

どうせこの状態ではオークの孕み袋にされて食われるのがオチでしょうからねェ。
水城かぜ
水城かぜ
あぁ、この部屋に対魔忍が2人だけでは寂しいのでしょう？
でもご安心下さい。
あなたたちが産んだ触手魔獣が
新しい仲間を増やしてくれますからね――。